

## 「住田町体育協会の取り組み」

住田町体育協会は5地区の体育協会と14の種目別協会で構成されており、行政と協力しながら、競技スポーツの普及振興とスポーツ人口の拡大、生涯スポーツの推進を目的に、様々なスポーツ事業を展開しています。

当協会の主な取り組みを紹介します。

### すみたスポーツラリー

町民総参加と、生涯スポーツの振興を目指して、年間を通じた町内21の自治公民館対抗戦を行っており、成人バレーボールナイターリーグ、家庭バレーボール、グラウンド・ゴルフ、クップ、地区民体育祭の5種目で競い合います。種目ごとに成績は得点化され、年間の総合順位を決定し表彰もします。子ども達から高齢者まで幅広く参加して楽しんでいます。



家庭バレーボールの様子(スポーツラリー)

### クップ大会

森林林業日本一を標榜する、当町らしいニュースポーツである「クップ」は木を使ったゲームで、スウェーデン生まれのスポーツです。

5月には「柚遊カップ」、10月は「クップジャパンオープン」として開催、小学生までの「ジュニアの部」と「一般の部」に分けて競技を行います。

参加チームは、町内は勿論、県内外から60チームほど参加し、交流しています。

残念ながら2020年は、コロナ禍で通常開催は

困難となり、参加者を町内に限定して開催しています。



2020クップ住田大会

### 住田町つながりトレイルランニング大会

住田の野山を走ろうということで、開催しています。参加者は、関東方面の方が多く、2020年の開催はコロナ禍で、出来ませんでした。自分たちの住む町の自然を見直し、守ってゆくことを意識しながら、交流人口の拡大も見据えて、取り組んでいきたいと思っています。



第1回住田町つながりトレイルランニングの様子(2018年)

### 今後の課題

地区体協や種目別協会へのサポートをより充実させ、町民の健康増進に少しでも寄与できるよう、スポーツの普及振興に努めていきたいと思っています。

協会として町体育施設管理業務の委託管理を行っていますが、施設をスポーツだけでなく、幅広く町民に利用してもらうことを考えながら、貸出業務を行っています。町民の健康寿命が延びるように願いながら…。